

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C	令和8年(2026年)4月10日
横断的な課題	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					南信州地域振興局
地域重点政策	高速交通網開通の効果を最大限に活かす基盤整備					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	南信州とのつながり創出事業	担当課	所属	リニア活用・企画振興課		
			電話	0265-53-0401		
			E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	南信州の魅力を市町村及び広域連合と連携して、効果的に発信することで当地域への興味関心を持ってもらい、ファンになってもらう。これにより、当地域のつながり人口や移住者の獲得を目指していく。				
	現状と課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none">・当地域の移住者やイベント参加者は中京圏からの方が多く、特に首都圏での南信州の知名度が低い傾向にある。・管内には小規模町村が多く、町村単位の取組では発信力が弱いため、十分なPR活動ができない。また、関係人口に対する認識は市町村ごとに差が大きく、取組が進んでいない自治体も多い。 <p><R6年度実績></p> <ul style="list-style-type: none">・まるごと南信州フェアin新宿・2024夏の陣 具体的な移住・就農相談は1組のみであったが、この方は他の就農イベントにも訪れており、移住可能性が高い。首都圏の多くの方に南信州を認知していただき、魅力をアピールすることができたため、一定の効果が感じられた。・南信州フェア 移住に関する情報を提供した方は20組となった。多くは移住を具体的に検討している方ではなかったが、南信州地域の出身者や将来的に移住を検討している方がいたため、情報提供の意味があった。・南信州移住相談会 相談者は8組12名と目標を下回った。南信州地域単独での移住相談会では多くの来場者や相談者は見込めないが、具体的に南信州への移住を検討されている本気度の高い方が中心となるため、1件あたりの相談時間が長く、移住可能性も高い。・キーパーソン調査発掘事業 17組のキーパーソンインタビューを行い、データを集めた。インタビュー内容を局公式Instagramへ投稿し、情報発信を行った。職員とキーパーソンの交流会を開催し、連携体制を強化した。 <p><課題></p> <p>市町村、広域連合、地域振興局で構成される南信州暮らし応援隊による都市部でのイベントに取り組み、まずは『南信州』を知ってもらう必要がある。また、つながり人口を生み出す、地域の人材(キーパーソン)にはどのような方がいるのか発掘調査し、地域とつながりたいが何から始めていいかわからない人材(関係人口予備軍)とのマッチングに活かすことで、関係人口を増やしていくことが必要である。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>(1)【南信州で活躍するキーパーソンの発掘調査及び発信】 関係人口を生み出す地域の人材「キーパーソン」15名の地域活動の内容や人となり我局公式Instagram及びブログで発信した。</p> <p>(2)【キーパーソンマップの作成】 これまで取材したキーパーソンを紹介するパンフレット(キーパーソンマップ)を作成し、移住相談会等で移住希望者に配布。 パンフレットは A3 二つ折り(仕上がり A4)の全4ページ、フルカラーで制作した。 これまで取材してきたキーパーソンの中から、分野の異なる7名程度を選び、取組内容や連絡先などを掲載することで、興味を持った方がより詳しく知ることができるようにする。また、局のInstagramやブログへのQRコードも掲載し、パンフレットからオンラインへアクセスしやすい導線を設けることで、今回掲載しなかったキーパーソンの活動も見てもらえるようにする。</p> <p>(3)【キーパーソン及び都市部在住者との交流会の開催】 これまでに取材したキーパーソン同士、また都市部在住者との交流の機会を創出する「南信州ライフミーティング」を年2回開催した。</p> <p><第1回目></p> <ul style="list-style-type: none">1開催日 令和7年9月27日(土)2開催場所 飯田市南信濃「ゲストハウス太陽堂」参加者10名3内容 講演会、取組紹介、移住者トーク、昼食交流会、太陽堂周辺の散策等 <p><第2回目></p> <ul style="list-style-type: none">1開催日 令和8年2月28日(土)2開催場所 下伊那郡喬木村「林檎屋共働空間」参加者10名3内容 移住者ゲストトーク、ミニ阿島傘の製作体験、参加者との交流 <p>(4)【移住相談会への参加】 南信州暮らし応援隊(南信州地域振興局、南信州広域連合、管内市町村で構成)による移住相談会の開催及び、南信州担い手就農プロデュース(南信州暮らし応援隊が企画)主催の首都圏で開催される就農・移住者増に向けた情報発信イベントへの参加。</p> <p><参加した移住相談会></p> <ul style="list-style-type: none">③-1 「いいとこなんだに南信州移住就農相談会 夏の陣」 開催日:令和7年8月2日(土) 開催場所:IA東京南新宿ビル3F大会議室				

等	③-2 「ふるさと回帰フェア」 開催日:令和7年9月21日(日) 開催場所:東京国際フォーラム ③-3 「ながコネ!」中京圏つながり人口交流会 開催日:令和7年11月22日(土) 開催場所:ウインクあいち ③-4 「南信州移住相談会」 開催日:2月8日(日) 開催場所:東京交通会館 ③-5「いいとこなんだに南信州移住就農相談会 冬の陣」 開催日:2月20日、21日 開催場所:JA東京南新宿ビル3階大会議室				
	事業期間	令和7年4月		～	令和8年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	南信州ライフミーティング	報償費・旅費・使用料	116,600	<第1回目> 謝金等25,100円(3名) チラシ印刷代等 5,000円 会場使用料 3,000円 <第2回目> 謝金等42,900円 チラシ印刷代等 15,000円 会場使用料 6,000円 ワークショップ材料費 19,600円	
	いいとこなんだに南信州移住就農相談会 (8月2日、2月20、21日)	宿泊費・交通費	26,560	旅費26,560円	
	ふるさと回帰フェア(9月21日)	宿泊費・交通費	26,500	旅費26,500円	
	ながコネ!(11月22日)	交通費	1,540	旅費1,540円	
	南信州移住相談会(2月8日)	宿泊費・交通費	7,550	旅費7,550円	
	南信州で活躍するキーパーソンの発掘調査及び発信 キーパーソンマップの作成・郵送代	需用費(ガソリン代、印刷代) 役務費(郵便代)	162,588	ガソリン代11,362円 キーパーソンマップ作成代148,500円 郵送代 2,726円	
合 計		341,338			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	キーパーソン及び都市部在住者との交流会(ライフミーティング)参加者		20人	20人	達成
	いいとこなんだに南信州移住就農相談会 相談者		10人	17組17人	
	ふるさと回帰フェア 相談者		20人	38組61人	
	南信州移住相談会 相談者		15人	10組15人	
事業実績・成果	(1)南信州で活躍するキーパーソンの発掘調査及び発信・(2)キーパーソンマップの作成 ・関係人口を生み出す地域人材として、南信州で活躍するキーパーソン15名を発掘し、活動内容や人となりを公式Instagramやブログで発信した。併せて、分野の異なる約7名を紹介するキーパーソンマップ(パンフレット)を作成し、移住相談会等で配布することで、人を軸とした地域の魅力発信を強化した。 ・取材内容を見て興味を持った方からの連絡も数件あり、新規発掘だけではなく活動を深掘りして発信・連携の模索を行うことの可能性を感じた。 (3)キーパーソン及び都市部在住者との交流会の開催・(4)移住相談会への参加 ・キーパーソンや都市部在住者が交流する「南信州ライフミーティング」を年2回開催し、継続的なつながりづくりを促進した。さらに、首都圏・中京圏での移住相談会等に参加し、将来的な移住・就農につながる接点を創出した。				
今後の方向性	来年度は、これまで実施してきたキーパーソンの発掘・発信、交流会、移住相談会で得られた成果を土台に事業を継続する。特に、過去に取材したキーパーソンのその後の活動や新たな展開など「+α」の情報発信に力を入れ、継続的な関係性や成長の過程が伝わる内容とする。人を起点とした情報発信を深化させることで、南信州への関心の定着と関係人口のさらなる拡大を図る。				